

## 我ら 50 期 ここにあり

### お金がたくさんあれば、人は幸福になる？

幸せに働く、幸せに生きるために必要なものはなんなのでしょう？まず思いつくのはお金かもしれません。働いて多くのお金をもらえるというはうれしいことですし、お金があれば、欲しいものがたくさん買えて幸せを感じられるでしょう。しかし、意外なことに、人は、お金がたくさんあれば、それに応じて幸せの度合いが高くなるわけではないようです。「人々の幸福感と所得について」という内閣府の調査によると、年収が400万円の人と800万円の人の幸福感にはほとんど差がないという結果が出ました。年収が2倍になったとしても幸せは2倍になれないのですね。お金をたくさん稼ぐ人は、仕事が忙しくなる傾向があります。仕事に費やす時間が多く、家族と一緒に過ごす時間や自分の趣味に費やす時間が減ってしまい、このようなデータ結果が出たのではないかと考えられます。同時に行われた調査では、「十分なお金がある」と同じぐらい、「自分や家族が健康であるかどうか」「家族の関係が良好かどうか」が、幸せを感じるうえで重要だと考える人が多いことがわかりました。「お金がたくさんあれば幸せになれる」ということではなさそうですね。

### 中学最後の懇談です。

暦の上では春を迎えようとしていますが、まだまだ寒い日が続いています。風は冷たいですが、春に近付いているのを感じます。卒業式まであと1ヶ月となりました。あっという間ですね。これからは1日1日が、今まで以上に大切な日々となっていきます。中学3年生にとって、今まさに準備の季節。自分のつぼみに力を蓄えるときです。やがて来る春（卒業・進学）のために、「今、すべきこと」を一生懸命行い、自分を高めて欲しいと思います。進路懇談も大詰めになってきました。公立一般選抜の内容を主に行いますが、3

### 鬼を考える⑨～泣いた赤鬼～ 学べること(2)



もうひとつは、近くにある大事なものを忘れてはいけない。ということです。つい、現状を当たり前だと思ってしまって、近くになるものの大きさを忘れて、他のものを欲しくなります。なくなつてみて、初めてありがたみがわかることがあるのです。例えば、一人暮らしを始めた時に、親がどんなにありがたかったかがわかります。実家にいたときは、洗濯物は知らないうちにたたんで置いてあるし、食事の後の食器だって誰かがキレイに洗ってくれていたのです。一人暮らしを始めると、最初は自由で誰にもうるさく言われなくて、「なんて自由だ」と思うでしょう。しかし、慣れてくると段々と寂しくなってくるのです。そして、洗濯や掃除など身の周りのことも、どれだけ家族に頼って生きてきたか気がつきます。家族は一緒にいると、とてもわざわざいと思うことがあります、いないととても寂しいものなのです。このお話では、青鬼君は、親しくしていた友達です。もしかして、こんなことになるまで、赤鬼にとって青鬼君は、時々会いに来る親しい知り合い程度に思っていたかもしれません。でも本当は、自分のことを誰よりも思ってくれている友達だと身に染みてわかります。